学校番号	416

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　標準　文学国語」　（第一学習社）						
副教材等	五訂版 漢字検定対応 常用漢字クリア（尚文出版） 大学入学共通テスト対応版　LT 現代文１（尚文出版） 大学入学共通テスト対応版　LT 現代文２（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目では近現代以降の文学作品を扱います。
文学作品では、登場人物の動作、言動、風景描写等を元に登場人物の心情を論理的に推察し、それがどう変化していっているのかを意識して読み進めます。それに加え、「自分がもしこの話の登場人物だったらどうするか。どう思うか。」そして「作品を読んで何を思ったのか」も同時に考えていきましょう。
・提出物の期限は必ず守りましょう。また、意見交流等の授業には積極的に参加しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	登場人物たちの言動からそれぞれの心情を的確に読み取り、人間・社会・自然などに対するものの見方・感じ方・考え方を深める。 ［教材］ 『卒業』 魚住直子	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b［ 読 ］：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 c：主人公の仕事に向き合う態度や友人への思いの変化を粘り強く読み取り、「卒業」という題名の意味について、自分の考えをまとめようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート
	表現の特色を的確に捉え、内容を解釈する方法を学び、解釈の多様性について考察する。 ［教材］ 『ひよこの眼』 山田詠美	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b［ 書 ］：内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察し、意見文にまとめる。 c：表現に注意しながら場面の展開を粘り強く読み取り、「私」の幹生に対する心情変化を捉えようとしている。 最後の段落の「私」の思いについて、自分の考えを積極的に文章にまとめようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート
	主人公と大人たちの瓢箪に対する考えの違いを通して、価値判断や評価について考えを深める。 ［教材］ 『清兵衛と瓢箪』 志賀直哉	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b［ 読 ］清兵衛と大人たちの瓢箪に対する考えの違いを通して、価値判断や評価について考えを深める。 c：主人公の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート
二学期	登場人物たちの言動からそれぞれの心情を的確に読み取り、それぞれの生き方について考える。 ［教材］ 『こころ』 夏目漱石	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b［ 読 ］：登場人物たちに関わる描写を丁寧に読み取り、それぞれの心情を的確に把握する。その上で、それぞれの人物の生き方、その選択に至った背景を考察する。 c：登場人物それぞれの生き方を読み取り、それに対する自分の考えを伝え合うことで、多様な考え方を理解しようとする。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート
	さまざまな文芸的話題や引用が散りばめられた作品を読んで、小説の奥深さとおもしろさを味わう。 ［教材］ 『富嶽百景』 中島京子	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b［ 読 ］：さまざまな文芸的話題や引用が散りばめられた作品を読んで、小説の奥深さとおもしろさを味わう。 c：太宰治『富嶽百景』を粘り強く読み、本作品への生かし方について理解を深めようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート
	詩中の表現をもとにして、詩の内容と韻律を深く味わう。 ［教材］ 『汚れつちまつた悲しみに…』 中原中也	a：文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 b［ 読 ］：「汚れつちまつた悲しみ」とは何か、詩中の表現をもとにして考え、詩の内容と韻律を深く味わう。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート

		c:象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。			
三学期	出来事の経緯や人物の発言をもとに心理を読み取り、戦争の体験をどのように意味づけるべきかを考える。 ［教材］ 『血であがなったもの』 大田昌秀	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:設定した題材に関連する複数の作品を基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 c:戦争の体験をどう意味づけるべきか考えるために、出来事の経緯や発言から登場人物の心理を粘り強く読み取ろうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート
	五七調のリズムの効果、文語表現などのはたらきを理解し、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫する方法を学ぶ。 ［教材］ 【創作】テーマを決めて短歌・俳句を作る	a:詩の特徴や表現の技法を理解する。 b[書]:文体の特徴や修辞のはたらきなどを考慮して、読み手を引きつける工夫を学ぶ。 c:教科書に示された短歌・俳句から文体や表現の技法を参考にして、積極的に短歌や俳句を創作しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間

・書くこと　…　（　　１５　　）時間

・読むこと　…　（　　５５　　）時間